

こんな時、どうすればいいの？

～投資信託編

Q:リーマンショック以降持っている投資信託が値下がりして困っています。

どのようにすれば良いのでしょうか？

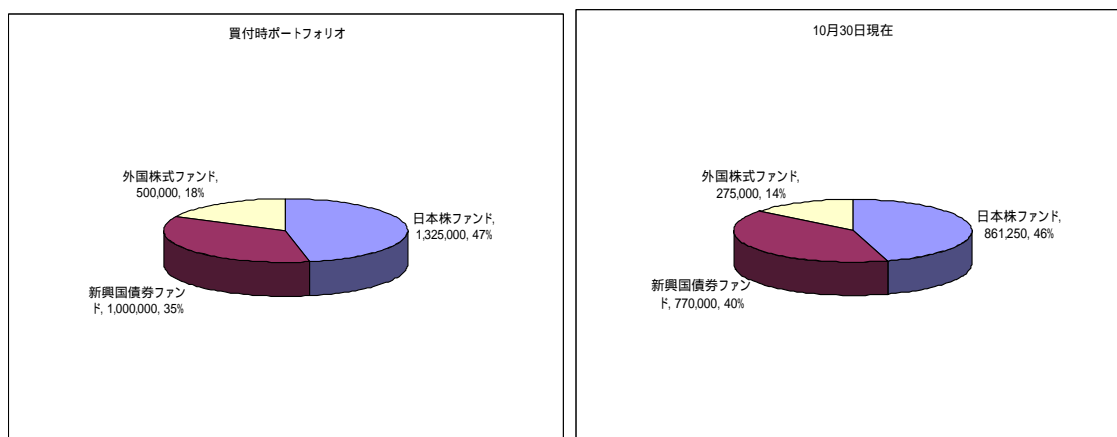
A:9月の米国リーマンショックから全世界が金融危機に陥り、株価や債券価格が値下がりし、投資信託に影響を及ぼしています。いくつかの金融機関で購入しているため、どこに相談すればよいか困り、FPに相談される方が増えているようです。保有している投資信託をどのようにすればよいかポイントを絞ってご説明いたします。

1. 現在、自分の保有している投資信託がどのような状況になっているか把握する。

投資信託や株式が値下がりしていると、つい目を覆ってしまいたくなりますが、購入先の金融機関に問い合わせして現状を把握することが重要となりますので、時価評価額を必ず確認しましょう。金融機関名、投資信託名、分類、投資金額、時価、損益状況などを一覧にすると見やすくなりますので、エクセルなどを利用して作成してみましょう。

2. 投資信託の投資先を再確認する。

投資信託の投資先が日本株、日本債券、外国株式、外国債券なのかを分析し、投資先が外国債券の場合は先進国もしくは新興国の債券なのかも分析しましょう。また発行体の信用力を記号で表した「格付け」もチェックしましょう。



3. 投資信託の値下がりの原因を追究する。

どのような要因で値下がりしているのか、追及することも重要です。例えば、外国債券を組み入れている場合、為替で値下がりしているのか、債券価格が急落して値下がりしているのかも確認しましょう。投資している債券の「信用リスク」、いわゆる債券に投資した元金や利息が発行時の条件どおりに返済される確実性に対するリスクが高くなっている可能性もありますので注意が必要です。

銘柄	額面(ドル)	購入 単価 (\$)	購入時 為替	購入 代金 (円)	現在 価格 (\$)	現在 為替	時価 (円)	損益状況
A国債	10,000	100	120	1,200,000	100	100	1,000,000	200,000
B社債	10,000	100	120	1,200,000	80	100	800,000	400,000

値下がり要因が為替

値下がり要因が
為替 + 債券価格の下落
信用度が低くなっている可能性が高い

4. 自分のリスク度合いを再確認する。

今後、保有している投資信託の価格が上昇するか、値下がりするか不透明な場合には、どのくらい値下がりしても許容できるかを確認しましょう。

コメント: 1の保有している投資信託の現状を把握できないと言う方は、現在の投資スタンス、リスク許容度が適合していないことがわかる。

5. 判断

現在保有している投資信託を買い増しするのか、銘柄を入れ替えるのか持続するのかを判断しましょう。

- 1) 現在保有している投資信託の平均単価を引き下げるため(ナンピンという)に、買い増しする。
- 2) 経済状況が安定するまでは投資する金額を控え、現状を維持する。
- 3) 信用度の低い債券を組み入れている投資信託から信用度の高い債券を組み入れている投資信託や株式を組み入れている投資信託などに組み替えをすることも検討する。

などの投資方法が考えられますが、3)は乗換費用(解約手数料、募集手数料などの諸費用)が必要となる場合もありますので、金融機関からの説明を受け、納得した時点で購入するようにしましょう。また、新たに購入する投資信託のリスクなどもきちんと理解し、自分で理解できない投資信託には投資しないようにすることが重要です。

ひとりで悩むより、家族で話し合ったり、専門家に相談するほうが一番の近道となる場合もありますので、一步踏み出してみましよう。

当資料は客観的情報提供を目的としており、投資等の勧誘または推奨を目的としたものではありません。投資に関する最終的な決定は、ご自身で判断して頂きますようお願いいたします。また、掲載しております情報内容に関しては万全を期しておりますが、その内容の正確性および安全性を保証するものではありません。当該情報に基づいて被ったいかなる損害につきましても情報提供者は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

著作権について

当ホームページのテキスト等の著作権は、当社に帰属します。

当ホームページの情報を事前の承認なく、

複製・配信等の行為をすることはかたくお断りいたします。

株式会社FPウイム
ファイナンシャル・プランナー(CFP)
伊田 賢一